

【家庭数】



# 学校だより 青い鳥

平成27年度1月号  
さいたま市立上落合小学校  
平成28年1月7日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 Tel 852-5381  
<http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/> E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp

## 新たな決意を胸に

校長 片柳 正

あけましておめでとうございます。平成28年の年明けはいかがでしたか。3学期の始業式で、子どもたちの明るい笑顔を見ると、どの家庭でも充実した冬休みを過ごされたことが分かります。冬休み中に新年のあいさつや大掃除など、いろいろなことを体験し、また一つ成長したのではないのでしょうか。学校では新しい年を迎え「今年もよい年でありますように。今年こそは、……をがんばるぞ」という一人ひとりの子どもたちの気持ちを大切にしながら、3学期の学校生活を送り、さらに4月からの進級・進学への意欲が高まるよう、きめ細かな教育活動に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひします。

さて、この冬休みに読んだ本の中に教育者で東井義雄先生が書かれた「心のスイッチ」という詩がありましたので紹介します。

### 心のスイッチ

とうい よしお  
東井 義雄

人間の目は 不思議な目 見ようという心がなかったら 見えても 見えない  
人間の耳は 不思議な耳 聞こうという心がなかったら 聞いていても 聞こえない  
頭も そうだ はじめからよい頭 わるい頭の区別があるのではないようだ  
「よし やるぞ!」というスイッチがはいると  
頭も すばらしい はたらきを しはじめる  
心のスイッチが 人間を つまらなくするし すばらしくもしていく  
電灯のスイッチが 家の中を明るくもし 暗くもするように

この詩から、人間にはたくさんの可能性があり、それを創り出していくのはまさに自分の「心のスイッチ」をどう入れていくかということではないのでしょうか。人それぞれ家庭環境も違います。それは、自分の意志でそこに生まれたわけではありません。自分で夢をもち、その夢に向かって「よし、やるぞ!」と「心のスイッチ」をONにできればその夢に近づくことができるかもしれません。そのスイッチを入れられるのは本人次第です。しかし、スイッチをOFFにしたまま過ぎていくこともあり、子どもたちにとってスイッチの切り替えは、そう簡単にはいきません。そこで、子どもたちのスイッチを入れるお手伝いをするのが、やはり大人の役目ではないのでしょうか。挫けているとき、悩んでいるとき、怠けているとき。そんなとき、やさしい声掛けや叱咤激励、話を聞いてあげる、一緒にやってみる。そんな大人の姿勢が「心のスイッチ」をONにし、子どもたちは新年に掲げた抱負に向かって努力するのではないのでしょうか。申年を迎え、この詩に出会った喜びに、私自身「心のスイッチ」が入ったような気がします。

今日から3学期がスタートします。教職員一同、「心のスイッチ」を入れ直して、子どもたちのよりよい成長のために励んでいきたいと存じます。今年もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校教育目標

あかるく なかよく たくましく